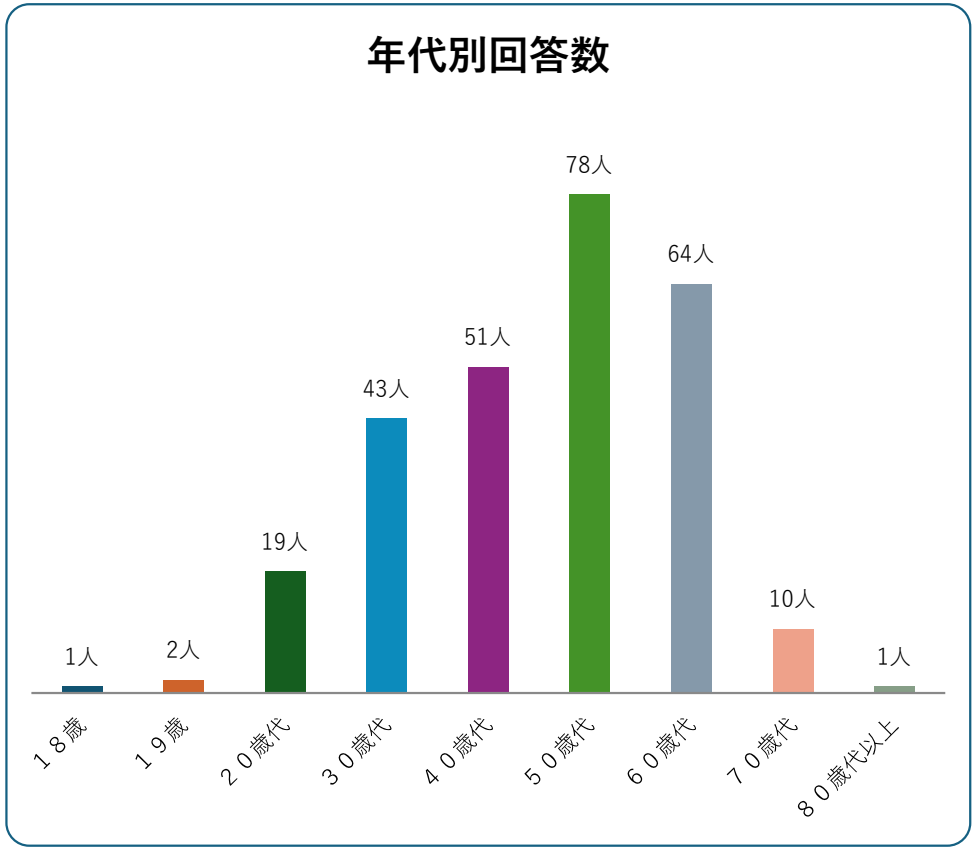
川崎市長選挙の広報についてのアンケート結果

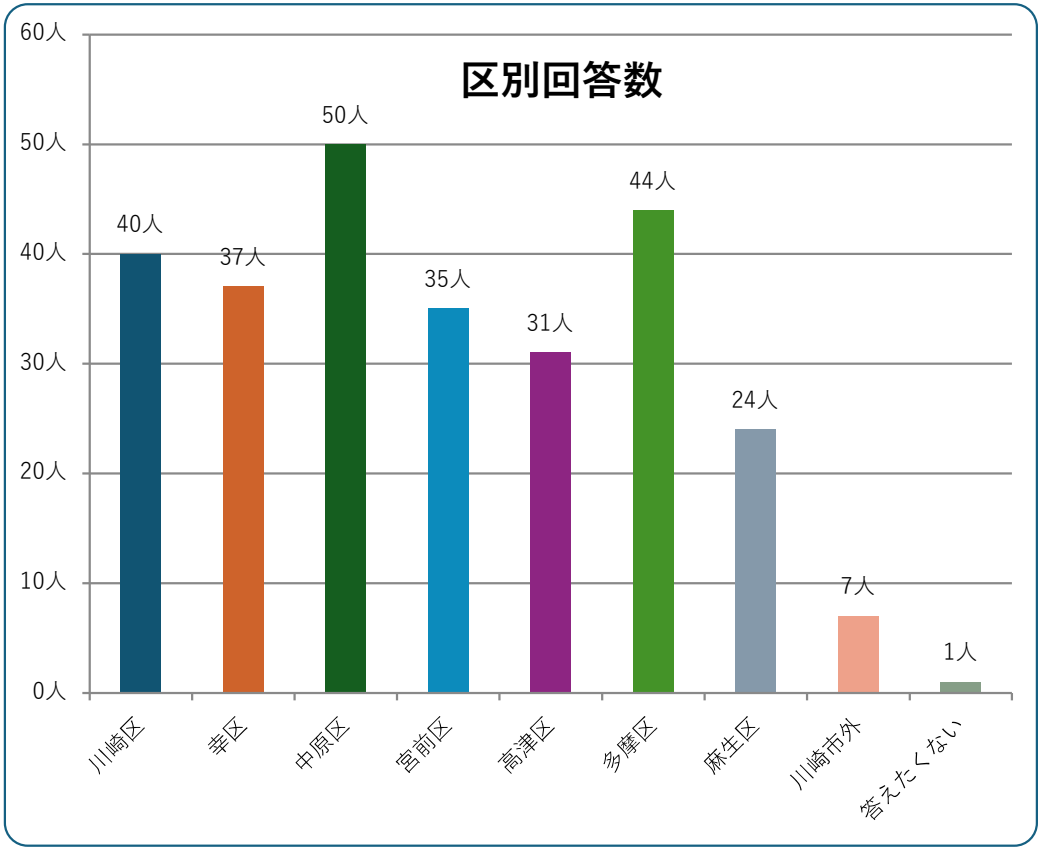
実施概要

- より多くの方に選挙の執行や投票日、各種投票制度などさまざまな選挙に関する情報をお知らせするために、昨年、令和7年10月26日に執行した川崎市長選挙における各種啓発・広報などについてのアンケートを実施
- アンケート期間は令和8年2月25日（水）から3月31日（火）まで
- Web上のアンケートフォーム（LoGoフォーム）で回答
- 本アンケートの実施については市政だより3月号、市ホームページ等で周知
- アンケートに全て回答いただいた方で、御希望される方には、本市の選挙マスコット「イックン」がデザインされた「マルチ傘カバー」を抽選で20名の方にプレゼント

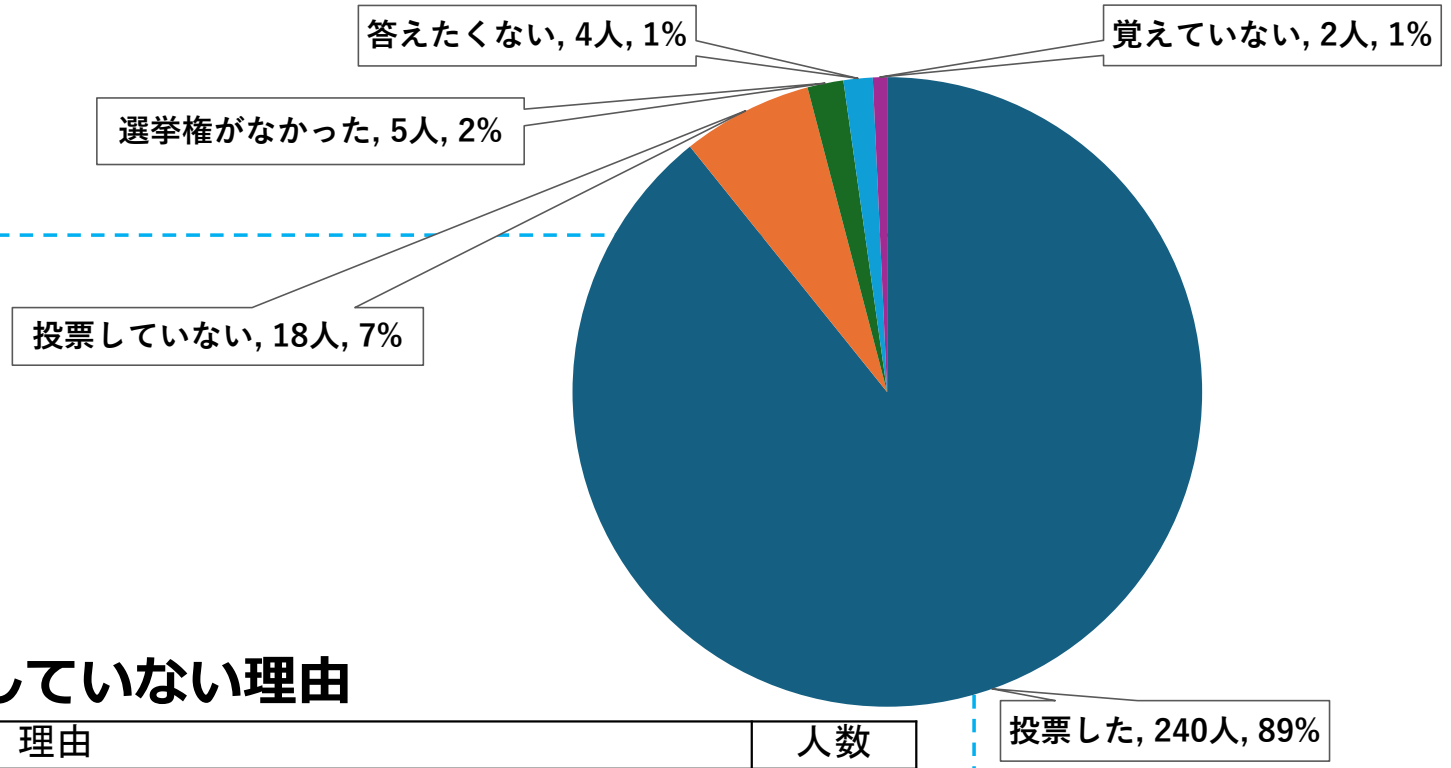
結果概要

- 全回答者数２６９名





Q3.令和７年１０月に執行された川崎市長選挙で投票しましたか。



投票していない人（年代別）

年代	人数	年代	人数
20歳代	2人	60歳代	3人
30歳代	3人	70歳代	0人
40歳代	5人	80歳代以上	1人
50歳代	4人		

Q4.投票していない理由

理由	人数
仕事や用事などで時間がなかったから	7人
誰に投票しても選挙の結果が変わらないと思ったから	3人
市外にいたから	3人
投票したい候補者や共感できる公約や政策を掲げる候補者がいなかったから	3人
市長選挙は自分たちの暮らしに影響がない、または軽微だと思ったから	1人
投票する気持ちはあったが、うっかり忘れてしまったから	1人

Q5.昨年10月に行われた川崎市長選での広報や活動などのうち、あなたが実際に見たり、聞いたりしたものを選択してください。[複数回答]

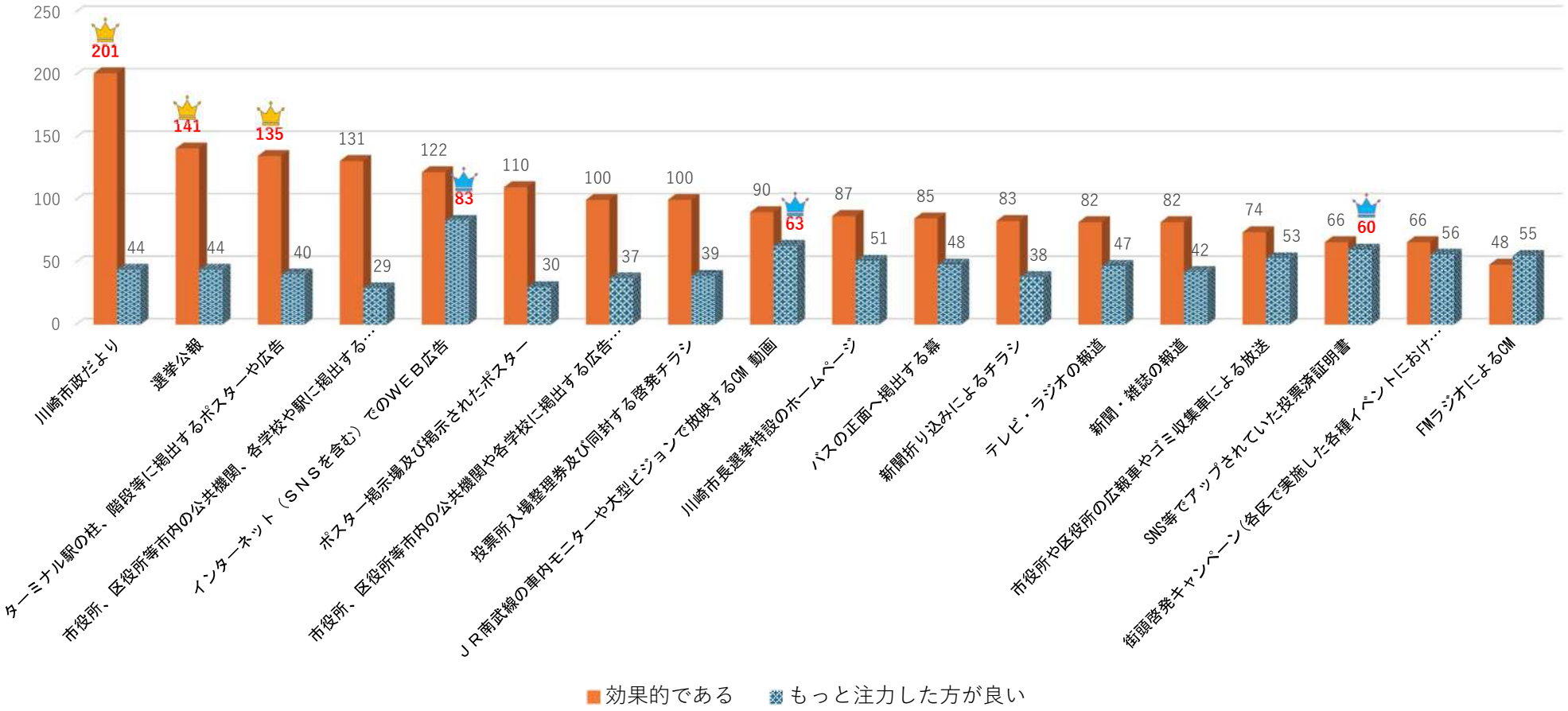
回答項目	件数
川崎市政だより	213
選挙公報	122
市役所、区役所等市内の公共機関、各学校や駅に掲出するポスター	102
ポスター掲示場及び掲示されたポスター	93
ターミナル駅の柱、階段等に掲出するポスターや広告	87
投票所入場整理券及び同封する啓発チラシ	59
新聞折り込みによるチラシ	58
インターネット（ＳＮＳを含む）でのＷＥＢ広告	53
候補者の選挙運動	53
バスの正面へ掲出する幕	41
市役所、区役所等市内の公共機関や各学校に掲出する広告（ポスター・横断幕等）	39
川崎市長選挙特設のホームページ	37
新聞・雑誌の報道	36
テレビ・ラジオの報道	36
SNS等でアップされていた投票済証明書	33
ＪＲ南武線の車内モニターや大型ビジョンで放映するCM 動画	29
市役所や区役所の広報車やゴミ収集車による放送	26
川崎市の公式ホームページのバナー	19
街頭啓発キャンペーン(各区で実施した各種イベントにおける啓発を含む)	15
覚えているものは特にない	8
FMラジオによるCM	2
ターミナル駅の柱	1
階段等に掲出するポスターや広告	1

Q5.昨年10月に行われた川崎市長選での広報や活動などのうち、あなたが実際に見たり、聞いたりしたものを選択してください。[複数回答]（年代別集計上位５位）

年代	1位	2位	3位	4位	5位
１８歳※ n=1	川崎市政だより［1件｜年代内50.0%］	新聞折り込みによるチラシ［1件｜年代内50.0%］			
１９歳※ n=2	川崎市政だより［2件｜年代内22.2%］	市役所、区役所等市内の公共機関、各学校や駅に掲出するポスター［1件｜年代内11.1%］	SNS等でアップされていた投票済証明書［1件｜年代内11.1%］	ターミナル駅の柱、階段等に掲出するポスターや広告［1件｜年代内11.1%］	新聞折り込みによるチラシ［1件｜年代内11.1%］
２０歳代 n=19	川崎市政だより［12件｜年代内14.1%］	市役所、区役所等市内の公共機関、各学校や駅に掲出するポスター［10件｜年代内11.8%］	ターミナル駅の柱、階段等に掲出するポスターや広告［8件｜年代内9.4%］	選挙公報［7件｜年代内8.2%］	インターネット（ＳＮＳを含む）でのＷＥＢ広告［6件｜年代内7.1%］
３０歳代 n=43	川崎市政だより［32件｜年代内24.4%］	選挙公報［16件｜年代内12.2%］	市役所、区役所等市内の公共機関、各学校や駅に掲出するポスター［12件｜年代内9.2%］	インターネット（ＳＮＳを含む）でのＷＥＢ広告［11件｜年代内8.4%］	ターミナル駅の柱、階段等に掲出するポスターや広告［8件｜年代内6.1%］
４０歳代 n=51	川崎市政だより［39件｜年代内16.0%］	選挙公報［22件｜年代内9.1%］	市役所、区役所等市内の公共機関、各学校や駅に掲出するポスター［22件｜年代内9.1%］	ポスター掲示場及び掲示されたポスター［20件｜年代内8.2%］	ターミナル駅の柱、階段等に掲出するポスターや広告［19件｜年代内7.8%］
５０歳代 n=78	川崎市政だより［66件｜年代内19.2%］	選挙公報［36件｜年代内10.5%］	市役所、区役所等市内の公共機関、各学校や駅に掲出するポスター［30件｜年代内8.7%］	ターミナル駅の柱、階段等に掲出するポスターや広告［28件｜年代内8.2%］	ポスター掲示場及び掲示されたポスター［28件｜年代内8.2%］
６０歳代 n=64	川崎市政だより［51件｜年代内16.8%］	選挙公報［32件｜年代内10.5%］	ポスター掲示場及び掲示されたポスター［26件｜年代内8.6%］	市役所、区役所等市内の公共機関、各学校や駅に掲出するポスター［23件｜年代内7.6%］	投票所入場整理券及び同封する啓発チラシ［22件｜年代内7.2%］
７０歳代 n=10	川崎市政だより［10件｜年代内22.7%］	選挙公報［7件｜年代内15.9%］	新聞折り込みによるチラシ［5件｜年代内11.4%］	ポスター掲示場及び掲示されたポスター［5件｜年代内11.4%］	市役所、区役所等市内の公共機関、各学校や駅に掲出するポスター［4件｜年代内9.1%］
８０歳代以上※ n=1	選挙公報［1件｜年代内100.0%］				

※１８歳、１９歳、８０歳代以上については回答者数少数

Q6.次の選挙に向けて、選挙の執行や投票日を周知する手段として、効果的と思うものはありますか？
また、もっと力を入れて実施した方がよい（回数や掲出場所を増やすなど）と思うものはありますか？



Q7. Q6以外のもので選挙の執行や投票日を周知する手段として、効果的と思う広報（自由回答）の概要

1　周知・広報手段の強化に関する意見

- SNS（Instagram、YouTube、TikTok、X、LINE 等）やWEB広告など、若年層を含む幅広い層が日常的に接触する媒体をより積極的に活用すべきという意見が多く見られた。

2　生活動線・身近な場所での周知を求める意見

- 駅、バス、電車、商業施設、スーパー、コンビニなど、日常生活の中で自然に目に入る場所での周知を求める声が多く挙げられている。

3　若年層・子どもへの啓発に関する意見

- 若年層の投票行動を促すためには、SNS活用に加え、学校（ポスター掲示含む）や子どもを通じた啓発などの取組が必要という意見が見られた。

4　人物・キャラクターの活用に関する意見

- 「イックン」の有効活用（露出を増やすことや他のキャラクターとのコラボレーション）や今回の田中碧選手起用のように有名人を活用した広報に関する意見が見られた。

5　投票しやすさ・環境整備に関する意見

- 期日前投票所の立地やアクセス改善など、「投票に行きやすい環境づくり」を重視する意見が一定数見られた。
- 駅前や商業施設内での期日前投票所設置を望む声が多い。

6　動機付け・関心喚起に関する意見

- 「投票することで何が変わるのか」「選挙が生活にどのように関わるのか」をより分かりやすく伝えるべきという意見があった。

Q7. Q6以外のもので選挙の執行や投票日を周知する手段として、効果的と思う広報（自由回答）＜年代別の回答傾向＞

◆１９歳

- 選挙当日であることを知らせる町内放送

◆２０歳代

- Youtubeでの広告
- SNSを活用し若者向けに興味を持ってもらう
- 期日前投票の利便性向上

◆３０歳代

- SNSの活用
- 駅・公共施設でのポスター掲示、電車内CMの活用
- 子育て世代向けの周知
- 保育園、幼稚園、学校を通じた情報提供（子育てアプリ）
- 期日前投票の利便性向上

◆４０歳代

- 有名人の起用、「イックン」の活用や他キャラクターとのコラボ
- 駅・公共施設・交通機関でのポスター掲示
- 学校でのポスター、チラシ掲示、親子が参加するイベントへのブース出展
- SNS、デジタルサイネージなどの活用
- 通勤、通学の動線で繰り返し目にする場所での周知

◆５０歳代

- 市政だより、選挙公報、新聞折込
- SNSの活用
- 「イックン」の活用
- コンビニ、スーパー、町内会掲示板など生活動線でのポスター掲示や広報

◆６０歳代

- ポスターなどの広報を広く行う
- 子ども・学校を通じた家族への周知
- 「イックン」の活用
- コンビニ、スーパー、町内会掲示板など生活動線でのポスター掲示や広報

◆７０歳代以上

- 選挙公報の早期告知
- コンビニ、スーパー、町内会掲示板など生活動線でのポスター掲示や広報